
君と彼女とアタシ

楓

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君と彼女とアタシ

【Nコード】

N4185Z

【作者名】

楓

【あらすじ】

もともと、「君と彼女とあたし」を書いていたのですが、なんか更新しなすぎて話がぶっ飛ぶので。

「君と彼女とアタシ」で、日記形式でかこうかと……。

実は実際（筆者）の話なので、しかも今起こってることなので、結構日にちがあくのです！

それで日記形式……。

プロローグ

私、山岸楓は、矢口洋輔やぐちようすけという男の子に恋をしています。けど、洋輔には美緒っていう彼女的存在の女の子がいて…。まあ、そんなこんなで恋をしています。

今は、小学6年生。

この話のきっかけは、2年前、小学4年生のことだった…。

〈2年前〉

「えーっ！」

「声大きい！洋輔に聞こえちゃうじゃん！」

私は、洋輔のことを珠菜じゆなと綾音に相談したのだった。

まあ、驚くのも無理ないけどね。

確か、昼休みのことだった。

そうしたら、昼休みが終わって掃除が始まった。

（あ、やばっ！私、教室担当だ！）

そう思って、ほうきを取りに行ったら、珠菜と綾音に呼び止められた。

「ど、どうしたの？」

「いや、あのー。洋輔にさ、間違っって中庭で楓が洋輔のこと好きって、洋輔本人に言っちゃってさー。」

「えーっ！」

慌てているあたしのもとに洋輔が現れた。

「今、中庭で珠菜から聞いたんやけど、楓って俺のこと好きなん？」

（えーっ！な、なんていえばいいんだろっ？とりあえず、言おう！）

「う、うん…。」

教室のど真ん中で、ほぼ告白に近いことを行ったアタシ。

これから、どうしようか？

アタシと洋輔は赤くなるし、周りは聞いてなかったみたいだけど…。
チョー恥ずかしい！それで、1日話せなかった…。

次の日から洋輔が毎日同じことを聞く。

「どう？好きな人変わりそう？変わるんやったら教えてな。」

それから少ししたら、「できた？」の一言。

あたしはいっつも、「できてない！」

この繰り返し。

5年生に入って少ししてからかな？それが、やっと終わった。
いいのか悪いのか。

それで、今に至るってわけ。

少年マンガとかの話で盛り上げられるから、今でも普通にしゃべってる。

そんなある日、事件は起こった…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4185z/>

君と彼女とアタシ

2011年12月14日15時48分発行